

サポイン終了プロジェクト事業化支援事業 ～ 『インターネットコンジャパン 2017』 出展 ～

地域経済部 産業技術連携課
TEL 082-224-5680

中国経済産業局では、戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）の成果を普及し、事業化を推進するため、平成22年度より、中国地域のサポイン終了プロジェクトに対して、専門展示会出展を中心とした事業化支援事業を実施しています。

今年度は、平成29年1月18日から3日間の会期で、東京ビッグサイトで開催された「インターネットコンジャパン 2017」に九州経済産業局と共同出展しました。

インターネットコンジャパンは、アジア最大級のエレクトロニクス製造・実装技術展で、展示会全体で2,250社が出展しました。初日から多くの来場者で賑わい、当局のブースにも多くの方に立ち寄っていただきました。



中国地域から出展した5社では、展示会出展後、十数件の商談に至り、また、出展者間の技術協力や共同研究に進みそうな案件もいくつか出てきました。

出展企業からは、「多業種への商品訴求ができた」「大変良い成果を得られた」との声をいただいています。

本稿では、中国地域から出展した5社をご紹介します。

出展企業のご紹介 (50音順)

◆ 株式会社広洋電子 [広島県広島市西区三滝町 16-5]

<http://www.koyo-densi.co.jp/>

「組み込みシステム開発から板金・ハーネス製作まで」

(株)広洋電子の要素技術は、①アナログ \leftrightarrow デジタルデータの大容量変換、②ノイズ混入防止やデータ秘匿性に優れたCAN通信や光通信を実現できる技術力、③それらを組み合わせ一つのシステムとしてアセンブリする技術が柱となっています。組込ソフト、基板、機構・筐体に関する実績・技術力を基に、一品物から量産品まで、お客様のニーズにお応えし、カスタムでハードウェア・ソフトウェアの両面から検討、開発・設計そして製造までを一貫して柔軟に請負い・対応しています。

※CAN: コントローラエリアネットワーク

・サポイン採択事業

平成 25~26 年度 [「多チャンネル信号入出力と信号再現を可能とするマルチ・ハイスピードデータロガーの開発」](#)



◆ 株式会社C-I-N-K (旧名 株式会社コロイダル・インク)

[岡山県総社市赤浜 550]

<http://cink.jp/>

「ナノインク専用インクジェット印刷システム」

電子回路を印刷技術で製作するプリントエレクトロニクスは、時短・省資源に寄与するものとして、その市場が急速に拡大しています。

(株)C-INK の導電性金属ナノインクは、独自技術で安定化した金属ナノ粒子を主原料としております。そのため、インクを長期間安定的に保存できる

ほか、導電性の発現に高温焼結が不要となり、クラックの発生が少ない高品質の電子回路を印刷することが可能です。



・サポイン採択事業

平成 25～27 年度 [「世界初の常温導電性金属ナノインクを用いたプラスチック透明導電フィルムの低コスト印刷法による創製」](#)

◆ 株式会社テクノクラーツ [広島県広島市南区的場町 1-5-5]

<http://www.technocrats.co.jp/>

「次世代アンダーカット成型ユニット “すっぽん” および精密プレス金型」

“すっぽん” は、従来成型できなかったアンダーカット形状が簡単に成形でき、かつ、金型品質を向上させる便利な装置です。この装置を使用すると、①成形品形状の自由度が拡大、②金型の加工工数の大幅な削減と納期短縮、③アンダーカット成形機構の簡素化、④成形品制度の向上に威力を発揮します。また、コスト削減、寸法精度向上を実現するプレス金型を提供します。



次世代アンダーカット成型ユニット“すっぽん”



精密モーターケース

・サポイン採択事業

平成 22～24 年度 [「プレス金型用次世代アンダーカット成形技術の開発」](#)

◆ 有限会社デジタル・マイスター [山口県山口市小郡大江町 6-33]

<http://www.d-meister.co.jp/>

「お客様のさらなる挑戦を支える IT ビジネスパートナー」

従業員 50 名以上の事業所でストレスチェックが義務化され、メンタル不調の未然防止に感心が高まっています。(有)デジタル・マイスターでは、ウェアラブル型の心電図計測装置とスマートフォンを使ったストレス解析ソフトウェアにより簡単にストレスレベルをチェックできるシステムを開発しました。日々のストレスレベルを計測して蓄積することで、見過ごされやすいメンタル状態を見える化でき、心の健康増進に貢献します。



・サポイン採択事業

平成 25～27 年度 [「心拍揺らぎと呼吸から日常生活の中でストレス状態を手軽に知ることが出来る携帯型評価装置とクラウドサービスを実現するための組み込みソフトウェアの高度化に関する研究」](#)

◆ 松江エルメック株式会社 [島根県松江市朝酌町字土取 1159-1]

<http://www.elmec.co.jp/>

「超高速差動信号バランサーDSB (Differential Signal Balancer)」

DSB は遅延回路を応用した 10Gb/s 超差動信号向けのコモンモード・フィルタ。従来のコモンモード・チョークコイル (CMC) と異なり磁性体不使用、磁性損失が無いいため 28Gb/s の超高速対応を実現。従来の CMC はコモンモードノイズを反射遮

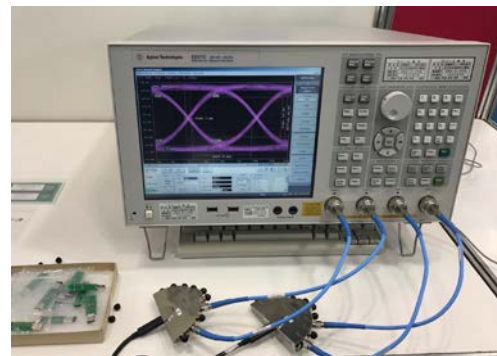
断する原理のため、反射ノイズが放射され EMI を引き起こす恐れがあるが、DSB はノイズを内部で吸収除去する方式のため、放射ノイズ防止にきわめて有効。

USB3.1 や光トランシーバー等でのノイズ対策波形品位向上に最適。

※ E M I : Electro Magnetic Interference (電磁妨害)

・ サポイン採択事業

平成 23～24 年度 [「28G ビット/s 電気伝送における放射ノイズ防止と伝送距離延長を同時に実現する振幅補正機能付きコモンモードフィルタの開発」](#)



戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン) について

戦略的基盤技術高度化支援事業は、中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律 (中小ものづくり高度化法) の認定を受けた研究開発計画を実現するための支援メニューの一つです。

中小ものづくり高度化法に基づく 1 2 技術分野の向上につながる研究開発、その試作等の取組を支援することを目的としています。

中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発、試作品開発等及び販路開拓への取組を一貫して支援します。

- 補助対象事業者: 「中小ものづくり高度化法」に基づく認定を受けた特定研究開発等計画」を基本とする事業
 - 補助対象者: 「中小ものづくり高度化法」に基づく「特定研究開発等計画」の認定を受けた中小企業者を含む共同体
 - 補助事業期間: 2 年度または 3 年度 (ただし、法認定計画の期間内であること)
 - 補助金額: 初年度 4,500 万円 (1,500 万円以下※)
 - 2 年度目: 初年度の交付決定額の 2/3 以内 (1,000 万円以内※)
 - 3 年度目: 初年度の交付決定額の 1/2 以内 (750 万円以内※)
- ※括弧内は、定額補助率となる者の限度額

- 補助率：大学・公設試等 定額
大学・公設試等以外 2 / 3
- 補助対象経費：物品費、人件費・謝金、旅費、その他、委託費、間接経費

例年、4月～6月の期間で公募が行われます。平成29年度も4月から公募予定です。

(昨年度の公募概要は「[中国経済産業局ウェブサイト：平成28年度予算に係る戦略的基盤技術高度化支援事業の公募及び説明会について](#)」をご覧ください。)

中小ものづくり高度化法の仕組み、支援を受けるまでの流れは、中小企業庁ホームページをご覧ください。

- [中小ものづくり高度化法ポータルサイト](#)
<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/portal/index.htm>